

2022年7月26日

PCB分析機関 各位

一般社団法人 日本環境測定分析協会
極微量物質研究会 研究開発 WG

第2回 塗膜中 PCB 分析に関する共同実験の実施について

拝啓

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

塗膜中 PCB 分析に関する共同実験実施のご案内をお送り致します。

高度経済成長期に製造及び使用された鋼構造物用の塩化ゴム系塗料の一部には、PCB が可塑剤として使用されていたことが知られており、これらの塗料は廃棄物として保管されているものの他に、当時に作られた橋梁や建築物のように現在、修理や改築が必要となってきた構造物等に用いられています。

このような中で、2018年11月に環境省から「高濃度ポリ塩化ビフェニル含有塗膜の調査について（通知）」が発出され、道路橋、鋼製タンク、水門・鉄管の鋼構造物、船舶等の高濃度 PCB 廃棄物となる塗膜について早急に調査を進めるよう「高濃度ポリ塩化ビフェニル含有塗膜 調査実施要領」（2020年3月に第2版、2021年5月に第3版に改訂）が示されました。

塗膜中の PCB の基準としては、2019年3月に環境省から「低濃度ポリ塩化ビフェニル汚染物の該当性判断基準について（通知）」が発出され、PCB 含有濃度が 0.5mg/kg 以下となる場合は、低濃度 PCB 汚染物に該当しない旨が示されました。また、2019年12月には高濃度 PCB 汚染物の基準が変更され、PCB 濃度が 100,000mg/kg を超過しない試料については、低濃度 PCB 廃棄物の無害化処理認定施設での処理が可能となりました。

塗膜中 PCB の測定方法については、2014年9月に公表された「低濃度 PCB 含有廃棄物に関する測定方法（第2版）」において、橋梁等の塗膜くず（廃塗膜）についての低濃度 PCB 含有廃棄物としての測定方法が示されました。その後、2019年10月の改訂（第4版）では、低濃度 PCB 汚染物に該当するか否かを判定する方法の追加が行われました。また、塗料には塩化ゴム系塗料が多く使用されており、ECD 測定等では適切な分析が困難となる場合が多い為、分析機器は質量分析計に限定されています。

塗膜中 PCB 分析は、他の廃棄物の分析と比べて特殊な前処理方法であることや、カネクロールなどの PCB 工業製品以外の PCB 汚染（有機顔料等の副生 PCB など）の報告があること等、分析の難易度が高い一方、自らの分析技術を客観的に確認するための機会が無かったことから、極微量物質研究会では2020年度に「第1回 塗膜中 PCB 分析に関する共同実験」を実施しました。その後も UTA 研セミナーのアンケート等でクロスチェックの実施について要望の声が高いことから、今回「第2回 塗膜中 PCB 分析に関する共同実験」を企画いたしました。塗膜中 PCB の共同実験については今回が最後となる見込みですので、PCB 分析をされている分析機関の皆様の積極的な参加をお待ちしております。

敬具

記

1. 分析方法：「低濃度 PCB 含有廃棄物に関する測定方法（第 5 版）」
(2020 年 10 月 環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理推進室) に掲載された方法から「塗膜くず (含有量試験)」を適宜選択してください。
2. 配付試料： 塗膜片 2 検体 (約 15 g を予定。残試料は適切に処分してください)
3. スケジュール: 申込期限 2022 年 8 月 31 日 (水) まで
試料配付 2022 年 10 月 3 日 (月) を予定
報告期限 2022 年 11 月 4 日 (金) まで

4. 参加費用：(税込価格)

種別	参加費用
極微量物質研究会会員	22,000 円
日本環境測定分析協会会員	55,000 円
一般 (会員外)	66,000 円

参加費用は振込みにてお支払いをお願いいたします。

「請求書」は申込後に自動送信される「申込完了のお知らせメール」文中に記載の URL からダウンロード発行となります (紙面の送付はございません)。請求書に記載の銀行口座にお振込みください。なお、お振込みは試料到着後 2 週間程度を目途をお願いいたします (申込の際に振込予定日をご記入いただきます)。また、振込手数料は参加機関様でご負担いただきますようお願いいたします。

なお、参加申し込み時に極微量物質研究会会員に申し込まれる機関様については、極微量物質研究会会員の参加費で参加できます。

5. 申込方法： 日環協ホームページの UTA 研新着揭示の下記 URL より、受付システム (Web) にてお申し込みください。
「第 2 回 塗膜中 PCB 分析に関する共同実験」ご案内のページ
<https://www.jemca.or.jp/2022/07/25617/>
申込完了後に「申込完了のお知らせ」メールが自動送信されます
(自動送信メールが不着の際は、まずは迷惑メールフォルダへの振り分けをご確認いただき、なおご不明の場合、事務局にご連絡願います)。
6. 結果報告： 結果報告用 Excel ファイルに分析結果を入力して報告ください (様式は、上記のご案内ページに、試料配付時期を目途に掲示いたしますので、ダウンロード・ご記入の上メール添付でお送りください)。

なお、2022年度第2回極微量物質研究会セミナー（2023年2月7日（火）開催予定）、
ならびに第31回環境化学討論会（2023年5月末 徳島県にて開催予定）において解析
結果を報告する予定です。報告は分析結果と参加機関の関連付けが特定されない統計値の
形で行います。参加機関名が一覧の形式で公表されること、解析結果の公表が行われるこ
とを予めご了承の上、参加申込みいただきますようお願いいたします。

7. 連絡先： 一般社団法人 日本環境測定分析協会 極微量物質研究会事務局（高井・長濱）
〒134-0084 東京都江戸川区東葛西 2-3-4 JEMCA ビル
TEL：03-3878-2811 FAX：03-3878-2639
E-mail：gokubiken76@jemca.or.jp